

基本事業コード	12010001	担当課所名	荒川総合支所市民福祉課
基本事業名 荒川総合支所市民福祉事務			
総合振興計画 の位置づけ	分野	6 行政運営	
	政策	1 行政運営	
	施策	- -	
			総合振興計画 75 ページ

基本事業の概要 荒川総合支所管内在住の住民及び、近隣の住民に対し、本庁で行っている行政サービスの一部を提供することによって、本庁へ訪れなくとも手続きが済むように利便性を高めるほか、効率的に業務が遂行できるよう総合支所庁舎の管理と調整を行う。

対象 (主に)荒川総合支所管内在住の市民／荒川総合支所内職員
意図 地域に密着した行政サービスを円滑に提供する。
 (対象をどのようにしたいか) 荒川総合支所庁舎の維持管理を行い、効率的に業務を遂行できるようにする。

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	1年度	評価年度(2年度)		4年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
総合支所での事務対応に対する苦情件数		成果指標 件	0	0	0	0	
庁舎維持管理不備による事故件数		成果指標 件	0	0	0	0	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指 標			目標値(上段)	種類	事務事業評価 4年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		事業費(円)			実績値(下段)			
		1年度決算額	2年度決算額	3年度予算額		単位		
01	本庁総務関係共同事務	指標:支所分のみの受付件数	0	0	0	活動指標 件	B	
			0	0	0		維持:拡充	
02	本庁市民福祉関係共同事務	指標:支所分のみの受付件数	0	0	0	活動指標 件	B	
			0	0	0		維持:拡充	
03	集会所貸付事務	指標:貸付地区数	0	0	0	5 地区	D	
			0	0	0		皆減:休廃止	
04	荒川総合支所庁舎管理事業	指標:庁舎維持管理完備による開庁率	13,831,603	11,839,446	12,681,000	100 %	C	◎
05		指標:						
06		指標:						
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考)最終予算額(円)		15,111,000	12,625,000	
事業費の合計(円) (A)		13,831,603	11,839,446	12,681,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
正規職員	地方債			
	その他特定財源	13,831,603	11,839,446	12,681,000
会計年度任用職員 (事業費に含む)	業務量	10.00人	10.00人	
	人件費(B)	60,603,860	58,579,130	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		74,435,463	70,418,576	

【重点化欄】
 評価時点以降の事業の方向性から
 ◎:特に重点化必要事業(1つ以内)
 ○:重点化必要事業(1つ以内)
 △:劣後化可能事業(1つ以内)
 ▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	完了	完了	皆減	縮小	維持	拡大
完了	D	x	x	x	x	x
皆減	x	D	x	x	x	x
縮小	x	x	C	x	x	x
維持	x	x	B	A	x	x
拡大	x	x	C,B	B,C	C	

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 効率的に業務を遂行するためには、総合支所庁舎の維持管理が必要である。また不備により事故等が発生した場合、閉庁や分散勤務など通常の業務が行えず、意図が達成できないだろう。また01及び02事業については様々な窓口業務があるが、対応そのものに苦情がなければ、業務を有効的に行っていると捉えられるため、それぞれ目標値の設定は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 地域密着型の行政サービスを提供する部門であることから、地域住民の利便性を高めるための過不足ない、適切な事務事業の構成となっている。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 01及び02事務については、本庁で行う業務の一部(主に窓口業務)を行っているため、行政が主体として行うべきものである。03については無償で地元町会に貸付しているが、維持管理は地元町会で実施しているため、ファシリティマネジメント推進の観点から、町会へ無償で譲渡する。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 庁舎及び備品が老朽化しているため、整備不備により住民に不便をかけないよう、より適切な維持管理に努めていく。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	令和3年6月中に滞りなく無償譲渡契約を結び、集会所に係るファシリティマネジメントの推進を完了させる。
	1年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 集会所貸付業務について、ファシリティマネジメントの推進及び実施主体の移管のため、令和3年度の契約更新までに各町会へ無償譲渡を行う。 関係町会長には無償譲渡について口頭での承諾をいただいた。令和3年7月の契約更新までに、無償譲渡の契約を行う。
予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	荒川支所庁用車の軽トラックが、令和4年度で初期登録から20年が経過する。老朽化のためサスペンションに穴が開くなど事故につながりかねない修繕が多発している。山間地を抱える荒川地域において軽トラック及び軽ダンプは、災害対応等有事や新そばまつり等各種イベントの際に、2台使用することが必要であるため新規で買い替え、上記の対応に支障が出ないよう備えたい。
	上記休日直廃止の対応策として休日及び夜間の電話対応業務を委託し、サービスの低下を最低限に抑える。 市が委託する警備会社に業務を委託することで、経費を節約するとともに、サービスの低下を最低限に抑えることができた。
中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案	固定資産の異動処理等、支所の設置目的である住民の利便性向上とは関係の薄い業務をリストアップし、本庁各課や他支所との協議のうえ、業務の見直し等の方向性を示したい。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
リストアップする業務の中には、専門的知識が必要で、その都度本庁へ問い合わせながら進めていくものもあり、一つの業務に対して職員二人がかりと効率が悪いと、業務の見直し等の方向性を見出すことにより効率的に業務が進められ、住民サービスの向上につながる。また、庁用車購入については対応を維持するために不可欠である。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	諸 敦夫	電話番号 0494-54-2111
----------------------	------	----------------------

基本事業コード	12020001	担当課所名	荒川総合支所地域振興課
基本事業名 荒川総合支所地域振興事務			
総合位置づけ 振興計画 画け	分野	6 行政運営	
	政策	1 行政運営	
	施策	- -	
			総合振興計画 75 ページ

基本事業の概要 主に荒川地区の市民に対し、本庁の環境部、産業観光部、地域整備部が行っている行政サービスの一部を提供し、本庁まで行かなくても用事が済むように利便性を高める。また、荒川地域振興課の自主事業として、荒川農村環境改善センターの貸し館業務、農業機械倉庫の管理、ちちぶ花見の里の管理を行い、荒川地域のコミュニティの活性化と産業観光の振興を図る。

対象 (主に)荒川総合支所管内在住の市民／荒川地域
意図 (対象をどのようにしたいか) 地域に密着した行政サービスを提供する／地域の振興を図る

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	1年度	評価年度(2年度)		4年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
地域密着サービスを提供すべき事業数に占める実事業の割合	実事務数/提供すべき事務数	成果指標 %	100	100	100	100	
荒川地区年間入込客数	—	成果指標 人	530,000	500,000	380,000	500,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指 標			目標値(上段)	種類	事務事業評価 4年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化	
		1年度決算額	2年度決算額	3年度予算額					実績値(下段)
01	本庁環境部との共同事務	指標: 0	0	0	—	—	A		
02	本庁産業観光部との共同事務	指標: 0	0	0	—	—	A		
03	本庁地域整備部との共同事務	指標: 0	0	0	—	—	A		
04	荒川農村環境改善センター維持管理事業	指標: 荒川農村環境改善センター利用者数	6,339,822	5,379,161	8,208,000	6,500	成果指標	B	○
05	農業関連施設維持管理事業	指標: そば収穫作業戸数	0	0	10,000	100	成果指標	C	▲
06	ちちぶ花見の里管理運営事業	指標: ちちぶ花見の里利用者数	2,015,200	2,138,609	2,683,000	10,000	成果指標	B	◎
07	観光案内板貼替補修事業(令和2年度のみ)	指標: 観光入込客数	0	2,112,000	0	500,000	成果指標	D	
08		指標:							
09		指標:							
10		指標:							
11		指標:							
12		指標:							
13		指標:							
14		指標:							

(参考) 最終予算額(円)		10,124,000	12,844,000	
事業費の合計(円) (A)		8,355,022	9,629,770	10,901,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	1,050,000	0
	地方債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	8,355,022	8,579,770	10,901,000
正規職員	業務量	8.00人	8.13人	
	人件費(B)	48,483,088	47,624,834	
会計年度任用職員(事業費に含む)	業務量	0.00人	0.00人	
	人件費	0	0	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		56,838,110	57,254,604	

【重点化欄】
 評価時点以降の事業の方向性から
 ◎: 特に重点化必要事業(1つ以内)
 ○: 重点化必要事業(1つ以内)
 △: 劣後化可能事業(1つ以内)
 ▲: 特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	×	×	C,B	B,C	C
	維持	×	×	B	A	×
	縮小	×	×	C	×	×
	休廃止	×	D	×	×	×
	完了	D	×	×	×	×
	完了	皆減 縮小 維持 拡大				
		コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 総合支所の役割である市全体部分の行政サービスを円滑に行い、地域の特色や状況に応じた生活基盤の向上を図るため地域密着サービスを提供し、各事業の実務を行っているため適切である。観光、農林業をはじめとした地域の産業振興の向上を図るため荒川管内を訪れる入込客数の指標を設定した。今後も、そばやしだれ桜関連のイベントにより、荒川に訪れる観光客の満足度を高めるとともに、社会基盤の整備や施設の維持管理を図り、商業及び産業振興に努める。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 01から03については、各部所への手続きの不便さを減らし、併せて市民の生活基盤向上を図っている。04から06について、04は地域コミュニティの活動拠点として、05・06は荒川地域の特産物であるそば作りの拠点であり、そばまつり等のイベント開催による観光産業の振興やPR活動として、07は荒川地域を訪れた観光客の満足度向上として、地域の活性化に繋がる事業であり妥当である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 行政事務及び施設管理等については、条例等により市が実施主体となることが妥当である。その中の観光分野では、各種まつり開催において市（総合支所）と地元関係団体による協議会が事業主体となることが多い。事業を実施するに当たり、実務的な事務の多くを市が担うことが多く、現在の限られた職員と財政資源の中で、実務を精査し、市の負担割合の低減を検討したい。

◆改善提案◆

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 06「ちちぶ花見の里管理運営事業について」は「そばの里あらかわ」を代表する交流拠点施設として整備され費用対効果の目標値は達成されているものの「そば処」は団体予約専用で稼働率の低い施設となっていることから、平成24年度から荒川商工会に業務委託し地元の主婦グループ「えがおの会」の活動等で稼働率が上がりつつあるが、メンバーの高齢化など運営に不安がある。今後は施設の更なる利用拡大を図り、稼働率を上げるため最重点化する事業として選択した。04「荒川環境改善センター維持管理事業」であるが、この施設は地域コミュニティの活動拠点として、地域住民の文化の向上と福祉の増進を目的に建てられた施設であり、各種の会議及び講座、講演等の事業が開催され、より利便性を向上させる必要があるため重点化事業とした。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)	
<p>予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度における観光客数は例年と比較し大幅に減少したが、今後はワクチン接種の進捗状況により、徐々に観光客が戻ってくる事が考えられる。人々の外出意欲が高まる中で、荒川地域に来ていただけるよう、今まで以上にSNSによる広報やメディアに向けた広報活動、観光ナビの更新等を積極的に展開し、荒川地域の魅力を外部に発信していきたい。</p>	<p>1年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、大打撃を受けた観光業界のV字回復を目指し、秩父あらかわの名所や味覚の情報をテレビ放送局やマスコミに提供し、映像を多くの人に知ってもらい、荒川を訪れていただくきっかけを作りたい。また、花見の里の有効活用を図るべく、荒川商工会・地元観光業者・そば関係団体、市民の方々と協働し、秩父あらかわを盛り上げていきたい。</p> <p>おもてなし観光公社に委託し、動画配信サイト上で、荒川地域の蕎麦を紹介し、秩父地域外の方に対しても、広くPRをすることができた。花見の里の有効活用については、引き続き、他団体と検討を行う。</p>
<p>予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案</p> <p>荒川管内の市道について定期的にパトロールを実施することで不良箇所を発見し、修繕工事を実施する。不良箇所の早期発見により、大規模な修繕工事を防止することができ、予算の削減を図ることができる。</p>	<p>荒川管内の市道について、定期的にパトロールを実施することで不良箇所を発見し、修繕工事を実施する。不良箇所の早期発見により、大規模な修繕工事を防止することができ、道路維持管理事業の予算削減を図ることができる。</p> <p>荒川管内の市道について、定期的にパトロールを実施した結果、不良箇所を早期に発見でき、小規模な修繕で対応できたことから、道路維持管理事業の経費の削減を図ることができた。今後もパトロールを継続する。</p>
<p>中長期的(3~5年)に取り組む改善提案</p>	<p>荒川幹線道路については、地元町会の要望に対して必要に応じて協議し、改良計画を策定することで計画的に道路改良を実施することができ、荒川管内交通網の充実を図るとともに主要道路である国道140号が災害等で問題が生じた場合でも、荒川地区に居住する住民の方々に不自由のない生活を与えたい。</p> <p>町会から提出された要望に対して内容を協議し現場の確認を実施し、対応できるかの判断を行った。今後も要望書が提出された場合には必要性を検討し、有効的な道路整備を実施する。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
<p>新型コロナウイルス感染拡大により、管内の商工業者や観光関連業者をはじめ、地域経済が大きな打撃を受けた。上記に掲げた改善に取り組む、観光客数を増加させることで、地域が活力を取り戻すきっかけとなる。</p>	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	山中 賢	電話番号 0494-54-2114
----------------------	------	----------------------